

World Para Swimming 公認 2026 ジャパンパラ水泳競技大会の 撮影・ウェブ配信業務の委託先選定に関する仕様書

1. 業務概要

(1) 業務名

2026 ジャパンパラ水泳競技大会 撮影・ウェブ配信等業務

(2) 大会名称

World Para Swimming 公認 2026 ジャパンパラ水泳競技大会

(3) 大会期間

2026年9月19日(土)～21日(月・祝)

- 設営日:2026年9月17日(木)
- 公式練習日等:2026年9月18日(金)
- 撤去日:2026年9月21日(月・祝)予定

(4) 会場

横浜国際プール(神奈川県横浜市都筑区北山田 7-3-1)

会場 URL <https://yokohama-sport.jp/waterarena/>

(5) 主催等

主催:公益財団法人日本パラスポーツ協会(以下「JPSA」という。)

共催:一般社団法人日本パラ水泳連盟、一般社団法人日本知的障害者水泳連盟

一般社団法人日本デフ水泳協会

※上記3団体を総称して「NF」という。

主管:一般社団法人神奈川県水泳連盟

2. 目的

本大会は、国際競技規則を適用した高水準の競技大会を実施することで、競技力向上およびパラスポーツの普及拡大を図るとともに、パラスポーツの認知向上およびファン拡大を目的として開催する。

本業務は、大会における撮影・ウェブ配信の一連の業務を適切に行うことを目的とする。

3. 仕様

以下に関する企画提案、制作、実施、運営等を行うこと。

なお、JPSA 及び各 NF が保有する有形無形の資産については最大限活用すること。

会場については上記 URL を参照すること。

また、競技場図面等を希望する場合は、「8. (4) 提出・質問先」へメールにて連絡すること。

(1) 撮影・映像制作

① 撮影業務

以下を想定した競技撮影を行うこと。

- 競技全景
- スタート側
- 表彰式
- インタビュー等

なお、具体的な撮影構成、カメラ台数、配置及び演出内容については提案事項とする。

② 映像制作・演出

以下の業務を行うこと。

- ・撮影機材及び関連機材の手配
- ・映像スイッチング
- ・テロップ、スーパー、競技情報表示等の制作
- ・得点表示等の映像制作
- ・録画映像制作
- ・オープニングアテンション映像(アタック映像)の制作
- ・配信用フリー音源の手配
- ・必要に応じた映像編集(スロー・リプレイ・ハイライト映像 など)

③ オープニングアテンション映像(アタック映像)

大会配信用のオープニングアテンション映像を制作すること。

なお、以下の内容を基本要件として含むこと。

- ・大会名称
- ・日程及び会場名称
- ・ジャパンパラ競技大会ロゴの掲出
- ・JPSA が指定する大会キービジュアル又はキーコメント
- ・競技特性を表現する映像及び音響演出
- ・会場写真又は競技映像等※を活用した構成
- ・ジェンダーバランス及び各障がいへの配慮を踏まえた映像表現
- ・国際大会水準の競技大会に相応しい BGM 及び演出
映像尺は 30 秒程度を想定する。

※使用素材については、JPSA 又は NF より提供する場合がある。

なお、詳細構成、演出内容及び修正回数等については契約後協議のうえ決定する。

④ 競技情報表示

選手名、所属、クラス分け、レーン情報等の競技情報は、原則として NF 又は JPSA より提供する。

委託事業者は配信用表示データとして加工・編集を行うこと。

⑤ アクセシビリティ

テロップ、字幕、配色等については、障がい特性を踏まえ、可読性及び視認性に配慮し、アクセシビリティを考慮した映像制作を行うこと。

⑥ プールサイドにおける安全動線の確保

車いすをはじめとする肢体不自由者や視覚障がい者の移動や視覚障がい選手のタッパー(壁への接近を知らせるスタッフ)の動きを妨げないように、カメラ配置およびケーブル養生(スロープ設置や空中配線等)を徹底すること。

(2)ウェブ配信

① 配信対象

配信対象は原則として以下を想定する。

- ・競技
- ・表彰式
- ・閉会式

詳細については JPSA と協議のうえ決定する。

② 配信プラットフォーム

配信先プラットフォームは YouTube を想定する。

配信アカウントは JPSA が指定するものを使用すること。

[公益財団法人 日本パラスポーツ協会 - YouTube](#)

③ 配信運営

以下を実施すること。

- ・チャンネル作成
- ・サムネイルの作成
- ・配信設定
- ・配信監視
- ・回線監視
- ・アーカイブ保存対応

④ 回線

配信に必要なインターネット回線については、原則として委託事業者が準備すること。

なお、以下を想定する。

- ・配信用本回線:1 回線
- ・配信用予備回線:1 回線
- ・報道控室用回線:1 回線

報道控室については、無線 LAN 環境を構築すること。

⑤ 音声

実況、解説及び場内音声等を適切にミキシングし、配信用音声として配信すること。

なお、解説者については NF が手配する場合があるため、連携して業務を行うこと。

⑥ リハーサル

大会前日までに、映像・音声・配信・回線・表示確認等を含む配信リハーサルを実施すること。

(3)協議・打合せ及び記録

① 打合せ記録

JPSA との協議・打合せ内容については、委託事業者が議事録等として記録し、実施後 1 週間以内に提出し確認を完了すること。

② 現地視察の予定(2026 年 7 月下旬を予定)あり。見積もりにその費用を含むこと。

③ 進行管理

契約期間中は、JPSA が必要とした場合、進行状況及び検討内容について随時報告できる体制を構築すること。

④ 実施報告

大会終了後 2 週間以内に、本業務に関する実施結果報告書を電子ファイル(PDF 形式を除く編集可能データ含む)にて提出すること。

(4)成果物

① 配信データ

大会終了後 2 週間以内に以下を提出すること。

- ・配信動画データ
- ・生データ
- ・アーカイブデータ

② オープニング映像

オープニングアテンション映像については、独立データとして大会 2 週間前までに提出すること。

(5)その他業務

以下を本業務に含むこと。

- ・人件費
- ・機材費

- ・運搬費
- ・設営撤去費
- ・消耗品費
- ・その他本業務実施に必要な経費

(6)その他

- ① 電源
会場常設電源を原則使用する。
追加が必要な場合は委託事業者が手配すること。
- ② 資機材
運営に必要な全ての資機材等は本契約に含むこと。
- ③ 原状復帰
撤収後は原状復帰を行い、発生した廃棄物は全て持ち帰ること。
- ④ 他事業者連携
本事業に関係する他事業者と連携して業務を行うこと。
- ⑤ 食事等
設営日及び大会期間中の食事・飲料等の支給は行わない。
- ⑥ 破損対応
施設設備等を破損した場合は、委託事業者の責任において速やかに復旧すること。
- ⑦ 個人情報保護
個人情報保護法その他関係法令及び JPSA の指示に基づき適切に管理を行うこと。
- ⑧ 協議事項
本仕様書に定めのない事項、疑義又は変更が生じた場合は、その都度 JPSA と協議のうえ決定する。
- ⑨ 過年度配信参考
過年度大会の配信イメージについては、以下の JPSA 公式 YouTube チャンネルを参考とすること。
なお、過年度配信は参考事例であり、同一内容の実施を保証するものではない。
機材構成、演出内容、配信品質等については、本仕様書及び提案内容に基づき協議のうえ決定する。
JPSA 公式 YouTube チャンネル(ライブ配信一覧):
[公益財団法人 日本パラスポーツ協会 - YouTube](#)

4. 権利関係

- (1)本業務の履行に係る成果物の所有権は全て JPSA に帰属する。
- (2)成果物が著作権法に規定する著作物に該当する場合、当該著作物に係る著作権(著作権法第 21 条から第 28 条までに規定する権利)は、成果物引渡し時に JPSA へ無償譲渡するものとする。
- (3)本業務履行に際し、第三者の著作権、知的財産権その他権利を侵害しないこと。
- (4)第三者権利を使用する場合は、委託事業者が必要な手続及び費用負担を行うこと。
- (5)JPSA が指定する素材等についてはこの限りではない。

5. 契約期間

契約締結日から 2026 年 11 月 30 日(月)まで

6. 競争参加資格

以下全てを満たす者であること。

- (1)予算決算及び会計令第 70 条及び第 71 条に該当しない者。
- (2)法人税、消費税及び地方消費税について未納がない者。
- (3)各省各庁、自治体等から指名停止等を受けていない者。

(4)適正な契約履行が可能な経営状況及び信用を有する者。

7. 選定基準(書類審査のみ・100 点満点)

※本選定はプレゼンなしの書類審査とし、具体性・再現性・現場実行力を重視する。

① 業務理解度・提案力(15点)

- 大会趣旨・パラスポーツ特性の理解度
- 視聴者(障がい者含む)への配慮の具体性
- スポンサー露出・大会価値向上への設計力
- 配信設計・画面構成の合理性

② 現場運営・実行可能性(20点)

- 事前検証および本番運用の現実性
- スタッフ体制の妥当性と役割分担の明確性
- 長時間・多日程配信への運用能力
- 他事業者との連携設計(計測・音響・施設)

③ 品質管理・リスク対策(25点)

- 映像・音声品質の安定化設計
- 回線冗長化および通信障害対策の実効性
- 配信停止・障害時の復旧フローの具体性
- 蓋絵運用・バックアップ設計の妥当性
- 機材・環境リスク(水・湿気・故障)対策

④ 会社能力・同種業務実績(10 点)

- スポーツライブ配信実績
- 水泳・屋内競技配信実績
- パラスポーツ大会実績
- 公共事業・大規模配信案件の実績

⑤ 価格点(30 点)

- 上限価格(税込600万円)の範囲内
 - 最低見積価格を基準とした比例配分方式
- ※仕様未達・記載不足がある場合は減点対象とする

8. 入札書類の提出について

(1)提出書類

①企画提案書

【提出形式】

- A4 横向き・20 ページ以内(表紙・目次除く)
- 単一 PDF ファイルで提出
- 文字サイズ:原則 10pt 以上
- 過度な装飾・視覚効果は禁止(判読性・実質重視)

【構成ルール】

提案資料は必ず以下の「提案書共通構成」に従うこと。
順序変更・未記載がある場合は評価に影響する。

【提案書共通構成(必須目次)】

第1章:業務理解度および基本方針

- 本大会(パラスポーツ・水泳競技)の趣旨理解
- ジャパンパラ競技大会の社会的意義の理解
- パラアスリート・視聴者双方への配慮方針
- WEB配信における基本コンセプト(視聴体験・公平性・情報設計)
- スポンサー(パートナー)露出・大会ブランド価値向上の考え方

第2章:WEB・映像配信設計およびシステム構築

- 使用機材構成(カメラ・スイッチャー・音声・エンコーダー等)
- カメラ配置図および役割分担
- 配信システム系統図(映像・音声・通信)
- 回線構成(本線・予備回線・冗長設計)
- 配信プラットフォーム(YouTube等)の運用設計
- タイミング計測データ連携および画面表示設計

【アクセシビリティ設計(重要項目)】

- 字幕・テロップ設計方針
- 色覚多様性への配慮(配色・UI設計)
- 音声情報補完(実況・解説・情報伝達方法)
- 視聴バリアフリーを実現する具体的手法

第3章:大会期間中の運営・実行体制

- 事前検証(回線テスト・リハーサル・接続試験)
- 大会当日(公式練習日～本番)のタイムライン
- スタッフ体制(ディレクター・TD・スイッチャー・音声・配信管理)
- 役割分担およびシフト計画
- JPSA・NF・会場・計測業者・音響事業者との連携方法
- 現場オペレーションフロー(指揮系統)

第4章:品質管理・技術リスク対策

- 映像・音声品質維持の技術的対策
- プール環境(高湿度・水跳ね)への機材対策
- 通信断絶時のバックアップ回線設計(LTE/5G等)
- 配信停止・遅延・障害発生時の復旧フロー
- 蓋絵・バックアップ映像への切替運用
- 機材故障時の代替運用計画

第5章:会社能力および同種業務の実績

- 過去5年以内の実績(最大3件)
 - 大会名
 - 規模
 - 配信規模(視聴数等)
 - 担当範囲(撮影・配信・演出等)

② 見積書(上限価格の範囲内とする)

「3. 業務内容」を満たしていない項目がある場合は、該当箇所及び追加費用を明記すること。

③ その他

- ・捺印不要
- ・見積書は指定 Excel にて提出
- ・その他書類は電子ファイルにて提出

(2)提出期限

2026年7月3日(金)17時

(3)質問期限

2026年6月22日(月)17時

質問及び回答は、質問者が特定されない形式で共有する場合がある。

(4)提出・質問先

公益財団法人日本パラスポーツ協会 企画広報部 ジャパンパラ運営事務局 担当:小島、原、加納

E-mail:taikai-jpsa@parasports.or.jp

件名:【入札】2026JPSW_撮影配信 または 【質問】2026JPSW_撮影配信

9. 選定結果

- | | |
|---------------|---------------------|
| (1) 入札結果通知予定日 | 2026年7月中旬頃を予定 |
| (2) 通知の方法 | 入札者へメールにて落札の有無を通知する |

以上